広報 ひがしくるめ
平成30年（2018年）
3／15号
No. 1208
毎月1日・15日発行
発行／東久留米市 編集／企画経営室秘書広報課 〒203-8555 東久留米市本町3-3-1 ☎042・470・7777（代） ホームページhttp://www.city.higashikurume.lg.jp/

並木市長 所信表明

さらに前進する東久留米を「夢と希望の持てる元気なまち」を目指して

3月1日～27日の会期で行われている30年第1回市議会定例会の2日目（3月3日）、並木市長は、市政運営の基本方針および当面の課題に対する所信を明らかにし、市民ならびに市議会の協力を求めました。今号では、そのあらましをお知らせします。なお、所信表明の全文は、市ホームページからご覧いただけます。詳しくは企画調整課☎470・7702へ。

30年第1回市議会定例会2日目で所信表明を行う並木市長

はじめに

昨年12月24日に執行された市長選挙におきまして、多くの市民の皆さまにご支持をいただき、引き続き市長として、東久留米市のかじ取りを任せていただくことになりました。改めて市民の皆さまの負託に応えられるよう、市政運営に全力を尽くしていきます。

私は4年前の市長選挙で初当選をさせていただき、「チャレンジする東久留米」の姿勢で、さまざまな行政課題に取り組み、財政を立て直し、「夢と希望の持てる元気なまち」にしたいと訴え、市民の皆さまのご意見などもお聞きしながら、市政運営に尽力してきました。

これまで未来を見据えてまいた種が、花を咲かせ、そして結実するよう、任期2期目4年間の市政運営に当たっての所信を述べます。

市政運営の考え方

市を取り巻く社会環境は大変厳しいものがあります。一つは少子化、超高齢社会の進行、もう一つは社会インフラの老朽化への対応です。

国では東京一極集中の是正から、市の歳入面では明るい兆しが見えない一方、社会保障関係経費の増加のみならず、公共施設の老朽化対策のための経費も加わり、市財政はより一層厳しさを増しています。

こうした中、将来にわたり持続できる市政、さらに成長し発展できる市政運営に向けて市民の皆さまと共に情報を共有しながら現状や課題を認識し合い、共に知恵を出し合いながら、難局を乗り越え、まちづくりを進めていきます。

一方、皆さまと共に歩むためには、更なる情報発信力の強化にも努めなければなりません。確かな情報を分かりやすく発信できるような体制づくりに努めます。

この東久留米市をさらに前進させ、誰もが生涯現役で活躍でき、安心して暮らすことができる「夢と希望の持てる元気なまち」を目指し、市民の皆さまと共に歩んでいきます。

未来へつながる6つのビジョン

◎子育てがたのしいまち

「子育てがたのしい」と実感していただくことや、子どもたちが健やかに育つ環境づくりは、若い世代が東久留米市に住みたいと思う気持ちや、このまちで子育てをしたいという思いにつながり、ひいては人口減少の抑制にも寄与できるものと考えます。

保育園の待機児童解消に向けては、引き続き、子どもが安心して健やかに成長できるような環境を整備していきます。妊娠期から青年期までの幅広い子を持つ世代に「子育てがたのしい」と思えるような保護者に寄り添う施策の充実に努めます。

◎高齢者・障害者・みんながいきいき暮らすまち

高齢者が生き生きと元気に活躍してくれることは、このまちの元気につながるものと考えており、こうした高齢者の活動の支援や健康に関する意識の高揚などに努めることが必要です。支援が必要になった際には、地域で安心して住み続けられるよう、介護保険サービスや地域包括ケアシステムの充実を図ります。

また、障害者が地域の中で生きがいを持ち、自立した生活を営み、社会参加するための就労支援の強化に努めます。

◎経済が活気あるまち

地域経済の活性化は地域の発展につながり、まちの魅力の高まりは担税世代の転入を促し、税収確保や豊かな消費生活などの面で好転をし、さらにまちの魅力と価値を高めるための財政投入を行えます。夢と希望があふれる東久留米市の未来へ向けて、こうした好循環を生み出すことが重要です。

まちのにぎわいと活力を生み出す新たな産業の創出、誘導なども含め、地域の経済活動の中心である中小企業の労働環境と活力の維持、向上に向けて、より効果的な支援や体制づくりに努めます。

東久留米市にはたくさんの魅力があります。まちの特色を生かしたにぎわいの創出や魅力の発信に取り組みます。

◎自然と調和した安全で快適なまち

東久留米市には、自然との調和、融和が図られた質の高い住環境が形成されており、それが最大の強みです。

「住み心地の良い快適空間東久留米」を目指して、市街地の街並みの整備、都市景観の保全や豊かな水辺環境を生かせるまちづくりに努めます。

安全に安心して暮らせるよう災害対策の充実に努めます。

地域公共交通の充実に向けては、デマンド型交通の制度設計を進め、実験運行を目指します。また、駅周辺の市営自転車等駐車場の恒久的な施設の確保を含め、事業を進めます。

都市農業の支援、活性化に努めます。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成の一環として、上の原地区に新たな屋外運動施設を整備します。

家庭ごみの有料化は、ごみの減量、資源化を推進する取り組みとして進めてきました。今後その効果などを検証し、市民の皆さまと認識を共有しながら必要に応じ見直しを行い、また、高齢者や障害者の皆さまなど、ごみの排出が困難な方への支援の在り方についても、検討していきます。

◎絆ある地域で市民が活躍するまち

地域のつながり、絆をより高めていくために、市民相互の連帯感の創出を目指した取り組みを進めてきました。今後も市民みんなのまつりを活性化し、全市的な機運を高めつつ地域の絆の輪を広げ、連帯感の創出に努めるなどし、地域づくり・絆づくりに取り組みます。

スポーツや文化活動の推進に努めます。また、生き生きとした暮らしを送るには、健康の維持・増進に関心を持ち、健康づくりに取り組むことが大切です。32年を目途に（仮称）スポーツ健康都市宣言の検討を行っていきます。

さまざまな分野で活躍されている「がんばる市民」の皆さまを、市ホームページなどで発信し、市民の皆さまと共に応援する機運を醸成します。

「第38回市民みんなのまつり商工祭・農業祭」での「ひがしくるめのき・ず・な手と手をつないでみんなで東久留米音頭」の様子

◎行財政改革で未来へつながるまち

市財政を健全化していくためには、社会情勢の変化や行政ニーズを的確に捉え、民間活力も活用しながら、身の丈に合った財政運営に努めることが必要です。また、不断の行財政改革に取り組みながらも、傾注すべきところに重点的に力を注ぎ込む、こうした自治体としての経営の目標を持って健全で持続可能な行財政運営を進めていくことが大切です。

次期のまちづくりの長期ビジョンとなる長期総合計画や都市計画マスタープラン、これらを踏まえた財政健全経営計画の策定に向け、市民の皆さまや学識者のご意見などもいただきながら取り組みます。

公共施設の老朽化が進み、対応が必要な施設が増えています。引き続き、財政負担の軽減および平準化、公共施設の効率的な活用と適正な維持更新の実現に向けて、公共施設マネジメントを推進します。

また、市民の皆さまの生活の中で実感されている思いやご要望などを聞かせていただく場として、市長座談会を開催していきます。

（2面に続く）

《今号の主な内容》

・「東久留米市子ども子育て支援事業計画」の中間年の見直し・補正を行いました 3面
・小・中学校の特別教室を開放します 5面
・子どもセンターあおぞらが開館します 7面
・狂犬病予防集合注射のお知らせ 8面